

【目次】

地 域	No.	要 望 ・ 意 見	対応状況	担当課
夜須町	1	市バスについて	完	地域支援課
夜須町	2	湯川秀樹記念事業について	完	学校教育課
夜須町	3	市のPRについて	完	商工観光課
夜須町	4	敬老会の助成金について	継続	高齢者介護課
夜須町	5	敬老会について(関連質疑)	継続	高齢者介護課
夜須町	6	子育ての諸施策について	完	こども課

NO.	夜須町	1	対応状況	完
	市バスについて			
受 付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	夜須町から野市町へ行く場合、赤岡町で乗り換えますが、赤岡町へ着いた時には既に野市行が出ていることがあるので困る。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【市 長】 バスの乗り継ぎ時間等、繋ぎはしっかりとすべきだと思いますので、地域支援課に確認するとともに、点ではなく線として繋がっていけるような取り組みをするよう、委託先も含めて話をします。			
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 4月23日(火) ・対応課 地域支援課 ・対応方法 夜須駅方面から野市中央病院等に行く場合の保健センターでの乗り継ぎは、4分以上の余裕を持った運行としております。 時刻表の時間より早く通過することは、基本的にないものと認識しておりますが、運行時刻を遵守するよう再度徹底いたします。 なお、乗り継ぎを想定していない便もありますので、時刻表をご確認の上、ご乗車ください。「市営バス・予約式乗合タクシー時刻表」の22ページに保健センターでの乗り換えについて分かりやすくまとめておりますので、ご覧いただければと思います。 また、これまで別々であった乗降場所を、令和5年10月1日から保健センター敷地内に統一しておりますので、お間違えのないようご注意ください。			
担当課	地域支援課			

NO.	夜須町	2	対応状況	完
	湯川秀樹記念事業について			
受付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	持続可能なまちづくりの推進の中で、子どもたちの未来のためにという項目があります。夜須小学校に湯川秀樹博士の銅像がありますが、未来の湯川秀樹を作るという趣旨で、生涯学習課の課外授業として湯川秀樹記念事業を立ち上げ、継続しての実施をお願いしたい。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 教育長 】 この事業の計画については、ずいぶん前からあったと聞いております。ちょうどコロナの流行と重なり、人を集めることが困難な中、立ち消えの状態になっております。その後、放置されていることについては、学校側の不備もあったかと思えます。 そういったなかで、今年度、中学生、小学生高学年を対象に講演会を計画しています。 そして、これをどう継続的にやっていくかということですが、これは、小中学校が単独でできることではないと思いますので、市で計画しようとしたときに、現実的にどういったことが可能なのか、持続していけるのかについては、協議の時間をいただきたいと思います。			
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 4月18日(木) ・対応課 学校教育課 ・対応方法 夜須小学校と湯川秀樹像の関りについて、大阪大学核物理研究センターの大久保茂男さんを迎えて12月2日の午後、夜須中学校全校生徒と夜須小学校の5、6年生及び地域の人や高知大学生を対象に夜須中学校体育館に迎えて講演をしていただくよう計画しています。 また、講演後に夜須小学校の湯川秀樹像を小学生がきれいに磨く作業をすることも計画しています。 今後は、学校の地域学習の一環として、湯川先生の銅像のゆかりや設置当時の思いなどを児童・生徒に伝え続けていきます。 また、生涯学習課では、湯川先生の科学に対する探求心を引継ぎ、夏休み子ども教室において、ものづくりの楽しさを伝えていきます。			
担当課	学校教育課			

NO.	夜須町	3	対応状況	完
	市のPRについて			
受 付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	日頃感じることとして、高知県西部の人は香南市の存在を知らない人が多い。野市の動物園や赤岡のどろめ祭りなど、他町にはないものが十分ありますので、知らない人がいることを前提にもっとPRしていただきたい。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【市 長】 香南市は、3月1日で合併して18年になります。市長として様々な場面でアピールしておりますが、まだまだ広くは伝わっていないと感じております。五つの町村が合併してできた香南市は、それぞれに歴史と文化、伝統がありますが、県外の方には5町村の印象が強いのではないのでしょうか。山北みかんであったり、赤岡のどろめであったりしますが、香南市という市の中に、それぞれがあるということを、もう一段高いところで取り組んでいきたいと思います。			
担当課	商工観光課			

NO.	夜須町	4	対応状況	継続
	敬老会の助成金について			
受 付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	先日、回覧板で見たのですが、昨年までは75歳以上の方に1500円の助成金が出てましたが、今年度は75歳、77歳、88歳、99歳の節目の方に3000円となっています。これは、75歳以上の1500円は無くなったということでしょうか。私たちの地区では、この助成金でみんなで集まって食事会をしていたのですが、対象が節目の方のみになると今までのような活動はできないし、地域の催しがなくなるのは寂しいものです。 また、私は偶然このことを知りましたが、知らない人はたくさんいると思います。いつもであれば6月に敬老会の説明会があると思いますが、なるべく早く会を開いてこういう風になった経緯とどういう形がより良いのかを係わっている方々と一緒に考える、そういう機会を設けていただきたいと思います。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 市 長 】 コロナ過に於いて敬老会が行われなくなり、景品を配ることが主流になっています。今後、さらに高齢化が進む中で、どのような形で配り続けられるかを考慮した結論です。ただ、地域の75歳以上の方が、元気で、集い、顔合わせをすることが、そもそもの敬老会に対する補助目的だったと思います。コロナが終わり、かつてのような敬老会が必要だという声があれば、新たな取り組みを考えることは十分認識しております。 今回、こういう形になったことについては、なかなか説明できる場面もなく、驚かせてしまったことと思います。しかし、意図としては本来の目的はなんであるのか、そしてそれをどのように叶えていくかという過程の中での一つの結論です。			
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和6年5月 ・対応課 高齢者介護課 ・対応方法 各地域へ敬老式補助金説明会の際に経緯を説明予定 ・対応結果 令和5年度に実施したアンケート結果を基に、令和6年度の補助対象者と補助金額の見直しを行いました。しかしながら敬老事業を実施する地域団体への事前説明ができておらず、十分な理解をいただけていない現状となっております。そのため、令和6年度に予定していた見直しを取り止めて、令和5年度までの従来どおりの補助対象者・補助金額で事業を実施することを6月～7月に開催される説明会の際に併せて説明します。 また、令和7年度以降については、地域団体の意向を聞く機会を設けて今後の敬老式のあり方を検討していきます。 (2回目) ・対応日 令和7年4月 ・対応課 高齢者介護課 ・対応方法 令和7年度は従来どおりの補助対象者・補助金額で事業を実施。令和8年度以降については、引き続き地域団体の意向を聞く機会を設けて今後の敬老式のあり方を検討していきます。			
担当課	高齢者介護課			

NO.	夜須町	5	対応状況	継続
	敬老会について(関連質疑)			
受 付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	夜須町の敬老会は、式典と交流会を行っていますが、コロナで中止が続きました。その間、記念品の配布をしておりますが、これは、安否確認のためとして行っております。地域の声としては、年1回、小学校の同窓会、顔つなぎとして是非続けていきたいときいております。今回のように節目の方だけとなると、中止になる。地域の交流、引きこもりにならないよう実施しているところもあります。検討していただきたい。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【市 長】 先ほど申しました目的に、まさに沿っております。その思いは同じでありますので、検討させてください。 ■後日回答■ No.4に同じ			
担当課	高齢者介護課			

NO.	夜須町	6	対応状況	完
	子育ての諸施策について			
受 付	令和6年4月17日 水 曜日 夜須町市民懇談会で意見聴取			
要望・意見	何点が質問します。まず、子育て支援サービスの充実の中の遊び場確保事業は具体的にどんなことをされているのでしょうかということと、放課後児童の居場所の充実は、今後どのように進めていくのでしょうか。 次に、学校の規模適正化について、複数の案を作成してから市民に提示すると話されていましたが、複数の案を作成する前にどのようにアンケートを取るのか、今の若い世代に対してどのように意見を聞いたりしていくのでしょうか。 あと、夜須町がモデル地域になっている項目があるのですが、今年度も夜須がモデル地域になりますか。もう1点。旧の夜須幼稚園、保育園の活用はどうなりますか。			
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【 こども課 】 子どもの遊び場確保事業は令和4年度から実施している事業で、ゼロ歳から小学6年生までを対象として、県立のいち動物公園の年間パスポートの引換券を送っている事業です。 次に、子どもの居場所の充実については、児童クラブと放課後子ども教室になります。放課後子ども教室は、現在吉川小学校と旧岸本小学校の地区だけとなっています。これは、地域の方がボランティアで運営に関わっていただいています、週に大体3回程度開催しております。対象は小学生です。夜須地域ではこの活動はされていません。こういった活動が広がればいいと思っておりますが、なかなかボランティアで活動してくれる人が少ないことが課題となっています。 【 教育長 】 学校の規模適正化については、最初として説明会のために伺うというよりは、皆さんの思われている「適正」を教えていただくためのものだと思っております。そのためにアンケートに記入していただく、もしくはその用紙にQRコードを記載しておりますので、そこから意見を頂く、また、香南市のホームページからもご意見を頂けるようにしております。 とにかく、多くの方に、「私が思う適正な学校」、どんな学校が理想的なのか、その声をできるだけ多く頂くための説明会としております。頂いたご意見を集約しまして、それを基にいくつかのパターンに分け、お示ししますので、それに対してご意見を下さい。そのパターンに対し、どう感じられたかを基に方向性を決めていく。そういう計画を立てています。 次に、夜須町が指定されているモデル事業ですが、これは、保・幼・小・中の連携に関する事業です。実は、保・幼・小・中がひとつの教育委員会の枠の中に納まって運営されているところは全国的にも珍しい地域なんです。今、就学前と小学校、中学校の間で、どうやって情報交換していくかということは、どこの地域でも困っている、悩んでいるところです。それを香南市は実施しています。 そのため、高知県の人権教育課が県の指定事業として、これまで香南市が行ってきた活動を他市町村へ発信していこうとしているのが、このモデル事業です。 【 こども課 】 現時点では両施設とも利用方法は決まっておりません。公共施設等マネジメントのほうでもご意見を伺いながら、どういう形が望ましいのか検討していきます。また、夜須町では防災コミュニティセンターの建設が進んでいます。その検討委員会に地域の方に入っていただいて話し合いをしているところです。そこでも、この公民館、福祉センター、大峰の里について、ご意見を伺うこととしていますし、保育所、幼稚園の施設の在り方についてもご意見を伺ったうえで考えていきます。			
担当課	こども課			